

## 「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の取組み報告

### 1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

- 湿原を題材とした、学校教育で活用可能な学習素材をとりまとめて情報発信を行うとともに、効果的な支援方策を検討する。
  - ・ 釧路市立鶴野小学校における学習素材の活用・実践例のとりまとめ案の作成（資料2）
  - ・ とりまとめた活用例を実践する際に必要な写真資料等の収集（植物、昆虫の写真素材）
  - ・ 委員との意見交換（参考資料3）

※今後、WEBサイトに掲載を行う予定。

### 2. 自然再生の学校教育への活用促進

- 自然再生事業地を学習素材としたモデル授業の検討を行う。
  - ・ 土砂流入対策実施現場（久著呂川）の現地見学会の開催（資料3、参考資料4）  
10月25日 WG構成員7名参加  
10月26日 高校教員14名参加
  - ・ 教員への情報発信のあり方についての検討、とりまとめ案の作成。（資料3）
  - ・ 委員との意見交換（参考資料3）

※引き続き、フィールドを活用した実践（モデル授業）に向けた調整を行う予定。

### 3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

- フィールドを活用した教員研修を教育委員会と連携して企画、実施するとともに、湿原に関する各種情報、現地見学会やモニタリング等の自然再生への参加機会等の情報を教員に届ける仕組みを検討する。
  - ・ 釧路管内高等学校環境教育部会と連携した教員研修講座の実施（上記現地見学会）
  - ・ WEBサイトの修正、教員研修講座実施内容等の資料掲載
  - ・ 委員との意見交換（参考資料3）

※今後、WGについて紹介したチラシを作成し配布する予定。